

# 行政の窓

## 農林漁業の新たな担い手確保モデル事業の取組について

道内の林業労働者は、平成25年度以降概ね横ばいで推移していますが、60歳以上の割合は約3割と依然として高いことから、適切な森林整備と木材の安定供給に向けて、林業労働者の育成・確保を進める必要があります。

このため、道では、29年度から、東京や札幌など道内外から農林漁業の新たな担い手となり得る人材を幅広く確保するため、これまで農林漁業に接する機会が少なく、関心の薄かった高校生、大学生や転職希望者の新たな就業の選択肢となるよう、本道の農林漁業の魅力の一体的な発信を行うとともに、地域の仕事や生活を実感してもらう就業・暮らし体験などの取組を進めています。

### 【令和元年度実施概要】（R1.12.3 現在）

**PR資料作成**（PRイベントや出前講座などで活用）

#### ■パンフレット

- 就業する本人だけでなく、家族も理解が深まるよう、各産業の仕事内容や種類を掲載したほか、就業者インタビューにおいて就業のきっかけや道のり、一日の働き方、やりがい、今後の目標などを紹介し、就業へのイメージを掴める誌面とした。
- その他、就業して身につく技術や相談窓口などを掲載し、農林漁業別に就活に役立つ一冊とした。

#### ■ホームページ

- 上記パンフレットをはじめ、これまで作成したPR動画やパンフレット、ツアー記録を掲載し、北海道の農林漁業の魅力を発信しているほか、体験ツアーの告知を行い、募集フォームとなっている。URL：<https://hokkaido-aff.com>（連動してフェイスブックも運営）



パンフレット

#### PRイベント

##### ■農林漁業座談会（7月20日、12月1日）

- 東京において、北海道の農林漁業に興味のある人を対象に、農林漁業の一日・一年の働き方や収入、北海道での生活を紹介します。気軽に語りあう座談会を開催。7月20日8名参加、12月1日10名参加。

##### ■道外イベント（移住イベントへの出展）

- 北海道暮らしフェア（大阪10月5日、名古屋10月6日、東京11月10日）に参加。大阪会場では18組、名古屋会場では28組、東京会場では19組に北海道の一次産業の魅力を説明。
- JOIN移住・交流&地域おこしフェアに参加予定（1月26日開催予定）。

##### ■農林漁業セミナー（北海道暮らしフェア大阪会場・東京会場）

- 北海道暮らしフェアにおいて林業就業者のトークセッションを開催。大阪会場22名参加、東京会場24名参加。



農林漁業座談会（東京）



北海道暮らしフェア（大阪）



農林漁業セミナー（東京）

#### 出前講座

- 北海道の農林漁業に対する理解を深め、職業の選択肢としてもらうため普通高校等を対象に実施。（生徒数は当日参加者数、◎は就業者出席）

6月7日	北海道奥尻高等学校	全生徒62名	◎
6月26日	北海道羽幌高等学校	1年生61名	
8月21日	北海道八雲高等学校	2年生61名	◎
11月13日	北海道留萌高等学校	1, 2年生333名	◎
2月5日予定	北海道中標津農業高等学校	1, 2年生60名程度	◎
2月10日予定	北海道厚真高等学校	1, 2年生30名程度	



出前講座（別海高校）

#### 就業・暮らし体験ツアー

- 農林漁業の仕事及び農山村地域での暮らしを体験して、農林漁業に対する理解を深めることにより、新たな担い手となり得る人材を確保することを目的に実施。
- 林業分は、地域林業担い手確保推進協議会と連携して実施。

9月11日～13日	浦幌町・幕別町（女性限定）	2名（札幌市、兵庫県）
9月25日～27日	石狩市・札幌市ほか	3名（札幌市2名、芽室町）
10月2日～4日	ニセコ町ほか	2名（札幌市、帯広市）
10月9日～12日	美瑛町・南富良野町ほか	1名（札幌市）
10月30日～11月2日	芦別市ほか	1名（旭川市）

参加者計：9名（うち男性4名、女性5名）

（北海道水産林務部林務局林業木材課事業体育成グループ）



林業ツアー（ニセコ町ほか）